

# 当院にて橈骨遠位部骨折の治療をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年12月26日

整形外科

整形外科では、「小児橈骨遠位部骨折に対する経皮鋼線固定術と掌側 locking plate 固定術の治療成績の比較・検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2018年1月1日～2024年8月31日の間に橈骨遠位部骨折を受傷し、  
経皮鋼線固定術もしくは骨折観血的手術を受けた16歳未満の方

## 1. 研究課題名

「小児橈骨遠位部骨折に対する経皮鋼線固定術と掌側 locking plate 固定術の治療成績の比較・検討」

## 2. 研究期間

2025年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

今回、私たちの病院で行われている研究について、患者さんにわかりやすく説明させていただきます。

### 【研究の背景】

子どもの骨折の中で、腕の骨（前腕骨）の骨折が最も多く、約 40%を占めています。特に、手首に近い部分（橈骨遠位部）の骨折は治療が難しいことがあります。

### 【現在の問題点】

この種類の骨折の治療方法には、ギプスで固定する方法や、細い針金（鋼線）を使う方法、金属のプレートを使う方法などがありますが、どの方法が最も良いかはまだはっきりしていません。また、どの治療法が日常生活やスポーツに早く戻れるかについても、十分な研究がされていません。

#### 【研究の目的】

私たちは、手首に近い部分の骨折（骨幹端骨折や骨幹端骨幹境界部骨折と呼ばれるもの）に対して、以下の2つの治療方法を比較する研究を行っています：

細い針金（鋼線）を使う方法

金属のプレートを使う方法

特に、プレートを使う方法が、他の方法と比べて固定期間が短く、日常生活やスポーツに早く戻れるのではないかと考えています。

この研究を通じて、患者さんにとって最も良い治療方法を見つけることが目的です。

#### 【研究の方法】

研究の方法は、まず診療記録から4に記載の情報を収集します。その後、各機関で氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は代表機関である千葉大学医学部附属病院に集約（提供）され、解析がおこなわれます。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

## 4. 研究に用いる情報の種類

以下の診療情報とレントゲン画像

受傷時年齢、性別、骨折の分類（どこで折れているか）、骨折型（どのようなずれ方をしているか）、どの程度骨折がずれているか、治療方法（鋼線固定か、金属のプレートか）、鋼線固定の場合はピンの埋め込んだかどうか、尺骨骨折の有無、尺骨固定の有無、遠位橈尺関節がずれているか、手術までの期間、術後シーネなどの固定期間、スポーツ復帰までの期間、骨がつくまで期間、金属を抜くまでの期間、観察期間、合併症の有無、変形治癒の有無

## 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

| 研究代表機関名     | 研究代表者 |
|-------------|-------|
| 千葉大学医学部附属病院 | 松浦佑介  |
| 共同研究機関名     | 研究責任者 |

|              |      |
|--------------|------|
| 旭中央病院        | 杉山宏  |
| さんむ医療センター    | 石川哲大 |
| 千葉市立青葉病院     | 山田俊之 |
| 流山中央病院       | 國吉一樹 |
| 習志野第一病院      | 三橋繁  |
| 東千葉メディカルセンター | 青木保親 |

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部整形外科研究室および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

整形外科 医師 小林樹

043（222）7171 内線 5303

〒289-2511  
千葉県旭市イの 1326 番地  
旭中央病院  
整形外科・主任部長 杉山宏  
TEL 0479-63-8111

〒289-1326  
千葉県山武市成東 250 番地  
さんむ医療センター  
整形外科・医務部長 石川哲大  
0475-82-2521

〒275-0016  
千葉県習志野市津田沼 5-5-25  
習志野第一病院  
整形外科・院長 三橋繁  
047-454-1511

〒260-0852  
千葉市中央区青葉町 1273-2  
千葉市立青葉病院  
リハビリテーション科・部長 山田俊之  
電話番号：043-227-1131

〒283-8686  
千葉県東金市丘山台三丁目 6 番地 2  
東千葉メディカルセンター  
整形外科・副センター長 青木保親  
[TEL:0475-50-1199](tel:0475-50-1199)

〒270-0114  
千葉県流山市東初石 2-132-2  
流山中央病院  
整形外科・院長 國吉一樹  
TEL 04-7154-5741